



1973.10 筑波大学建学:「開かれた大学」を謳う新構想大学
2009.7 「国際化拠点整備事業」(グローバル30採択):「国際性の日常化」をテーマに

2010	<p>英語コースの拡充 【12コース】 修士課程10コース、博士課程2コース <u>新設G30英語コース(学士・大学院)早期開設準備</u> 10月 学生募集要項web公開 11月期&2月期 オンライン入試 3月 合格者発表</p> <p>【22コース】学士課程2コース 修士課程15コース、博士課程5コース 8月 G30学士課程1期生入学式</p>	<p>ロケットスタート型基盤整備 学内の国際化・学生支援</p> <p>10月 外国人教員国際公募 12月 独自の奨学金制度 「つくばスカラシップ」創設</p> <p><u>外部評価委員会の実施による</u> <u>事業活動の点検と改善</u> 7月 第1回外部評価 (以降半年ごとに外部評価を実施)</p> <p>渡航前教育のための 日本語自習e-ラーニング/DVD開発</p>	<p>海外大学共同利用 事務所活動</p> <p>7月 在チュニジア日本大使館にて記者発表 11月 海外大学共同利用チュニス事務所開所</p> <p>2-3月 日本留学説明会初開催 (チュニジア、アルジェリア、モロッコ) 3月 国内セミナー 5月 第1回日本・北アフリカ学長会議 (JaNAUS)</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2011	<p>「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」構想見直し</p> <p>社会の激変への対応と国内外大学間ネットワーク形成による成果の波及</p>		<p>東日本大震災 「アラブの春」</p>
2012	<p>【26コース】学士課程3コース 修士課程17コース、博士課程6コース</p> <p>【30コース】学士課程3コース 修士課程21コース 博士課程6コース</p>	<p>3月 学生宿舎での震災対応説明会 留学生センターでの学生相談</p> <p>大学間ネットワーク活動 7月～ 関東甲信越大学間コンソーシアム 8月～ パイロットネットワーク (筑波大、東北大、名古屋大) 12月～ 日本・アフリカ大学連携ネットワーク (JAAN) アフリカとの学術交流における日本の大学のリソースを共有</p>	<p>3月 Webページによる震災対応情報の発信</p> <p>2月 第2回JaNAUS 「震災」「アラブの春」後の社会再構築における大学の役割を議論</p> <p>10月 第3回JaNAUS 「Mobility & Networking」を議論</p>
2013			
2014	<p>3月 G30学士課程初の卒業生 (早期卒業)</p>		

自走するポストG30体制へ

筑波大学国際地域戦略

—地域の特性に応じた国際化戦略を設定—

- 先端学術研究との協働を目指す地域
- **本学のレバレッジを活用する地域**
- 集中的に優秀な学生の獲得を目指す地域
- 将来の発展が期待できる地域

海外拠点事務所

チュニジア	2006
ウズベキスタン	2007
ベトナム 中国(北京) ドイツ	2009
中国(上海)	2012
インドネシア フランス	2013

海外拠点の設立

海外大学共同利用 チュニス事務所

チュニスで記者発表

マグレブ諸国高等教育省と 包括的学術交流協定締結 【在日・在アフリカ大使館との連携】

2005	チュニジア
2011	アルジェリア
2012	モロッコ

海外拠点事務所

筑波大学の国際交流に資する教育研究施設

海外大学共同利用事務所

日本全体の大学の情報発信やワンストップサービスによる支援

- 日本の大学の認知度の向上
- 日本の大学の情報発信
- 全国大学のオンサイト利用支援
- 日本ーアフリカ 学術連携
ネットワーク構築

海外大学共同利用チュニス事務所(BUTUJ) 日本留学説明会の開催



G30海外大学共同利用チュニス事務所		チュニジア	2009年11月
海外事務所	北アフリカ・地中海事務所	チュニジア	2006年5月
	中央アジア事務所	ウズベキスタン	2007年6月
	東南アジア事務所 ホーチミンオフィス(千葉大学共同)	ベトナム	2009年8月
	中国事務所 北京オフィス	北京	2009年10月
	中国事務所 上海教育研究センター	上海	2012年6月
	欧州事務所 ボンオフィス	ドイツ	2009年12月
	東南アジア事務所 インドネシアオフィス(千葉大学共同)	インドネシア	2013年4月
	欧州事務所 ボルドーオフィス	フランス	2013年10月

日本留学説明会開催

参加大学	参加者数	直接経費(千円)				
1	2010.2	チュニジア	チュニジア国立農業学院	2	500	110
2	2010.2	アルジェリア	ホウアリ・ブーメディエン工科大学	3	880	120
3	2010.3	モロッコ	ハッサンII世農獣医学院	3	400	214
4	2010.11	チュニジア	チュニジア国立農業学院	1	40	23
5	2010.11	チュニジア	サディキ・カレッジ(高校)	1	50	23
6	2011.2	モロッコ	アル=アハワイン大学	1	30	162
7	2011.2	モロッコ	シディ・モハメド・ベン=アブダッラー大学	1	500	162
8	2011.2	モーリタニア	ヌアクショット大学	1	80	320
9	2011.11	チュニジア	ホテル イペロスター	6	350	156
10	2012.3	モロッコ	カディ・アイヤード大学	3	940	540
11	2012.11	アルジェリア	オラン科学技術大学	3+1	858	400
12	2012.11	アルジェリア	アルジェ第2大学	3+1	711	400
13	2013.10	モロッコ	モハメドV世大学-アグダル校	7+1	250	420

国内セミナー開催

「北アフリカ諸国との学術パートナーシップ 確立に向けて」

2010.3	東京	北アフリカ3カ国13大学	80名参加
--------	----	--------------	-------

学術シンポジウム開催

チュニジア-日本
文化・科学・技術
学術会議

2009.11
2010.11
2011.11
2012.11
2013.11

アルジェリア-日本
文化・科学・技術
学術会議

2010.11
2012.5
モロッコ-日本 文化・科学・技術 学術会議
2012.3

* 旅費を除く、平均234千円



日本-北アフリカ学長会議(JaNAUS)

第1回	2010.5	チュニジア	New Phase of Academic Cooperation for the Next Decade
第2回	2012.2	つくば市	Role of Universities on Society Renovation
第3回	2013.10	モロッコ	Mobility and Academic Networking

日本-アフリカ大学連携ネットワーク(JAAN)

2012.10	つくば	筑波大	アフリカ大使団と会合
2012.12	東京	筑波大	JAAN準備会合
2013.5	横浜	横浜国立大	JAAN実務者会合
2013.6	横浜	パシフィコ横浜	TICAD-V ブース展示
2014.1	東京	筑波大	JAAN実務者会合

特別なイベント

2013.6	東京	筑波大	チュニジア大統領講演会
2014.1	安倍首相アフリカ諸国訪問		永田筑波大学長随行

□ 北アフリカ諸国における筑波大学のプレゼンス及び相互理解の向上に寄与

□ 留学生受け入れ環境の整備

- ・拠点事務所にTV会議システムを設置し、G30現地入試を実施/他大学の入試支援
- ・海外拠点を活用した留学説明会(留学フェア)を開催
- ・留学説明会でのDVD配布による日本語自習指導
- ・留学予定者への現地での渡日前留学情報及び日本語自習教材の提供
- ・e-ラーニングによる渡日前日本語教育の実施

□ 海外事務所の共同利用

- ・千葉大学インドネシア事務所と筑波大学ベトナム事務所の相互利用

パイロットネットワーク

東北大学

名古屋大学

筑波大学

関東甲信越大学間コンソーシアム

筑波大学、筑波技術大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、長岡技術科学大学、上越教育大学、山梨大学、総合研究大学院大学、新潟大学、高崎健康福祉大学、流通経済大学、つくば国際大学、千葉大学

-テレビ・新聞での報道-

- 2009年7月 チュニスにおける海外大学共同利用事務所
現地新聞(La Quotidien紙)
- 2009年11月 BUTUJ開所式
現地新聞(La Press、l' Expert紙:1面トップ)
- 2009年12月「季刊アラブ」誌冬号
- 2010年2月 留学説明会 現地国営放送の夜のニュース
- 2010年5月 第1回日本・北アフリカ学長会議
現地アラビア語新聞(アル=アーム紙)
- 2010年5月 2010年5月24日付け「文教ニュース」
第1回日本・北アフリカ学長会議
- 2010年7月 BUTUJの活動;文部科学時報2010年7月号
- 2010年9月 「季刊アラブ」誌2010円秋号(No. 134)
- 2011年2月 首相および高等教育大臣との会談
現地新聞(Horizons紙)
- 2011年5月 大学マネジメント誌2011年5月号
- 2012年7月 留学説明会;NHK WORLDラジオ短波
フランス語放送
- 2012年7月 「毎日フォーラム」誌2011年11月
- 2012年11月 留学説明会; NHK WORLDラジオ短波
フランス語放送
- 2012年11月 オランでの日本留学説明会(Le Quotidien)
- 2012年12月 NHK WORLDラジオ短波アラビア語放送
- 2012年12月 留学説明会;向学新聞12月1日号
- 2013年9月 NHK WORLD中東向けアラビア語ラジオ放送
- 2013年10月 第3回日本・北アフリカ学長会議
モロッコ現地TVニュース

国費奨学金の合格者数

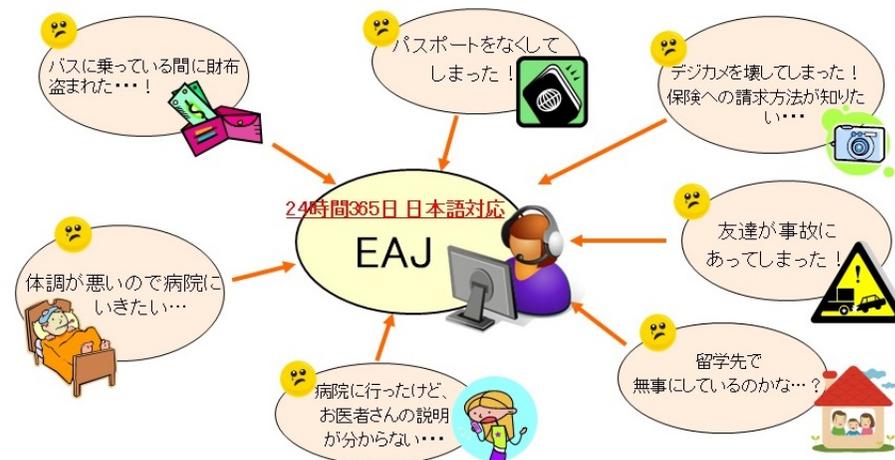
	チュニジア	モロッコ	アルジェリア
	合格者	合格者	合格者
2009	9	5	4
2010	5	4	4
2011	5	3	3
2012	6	3	



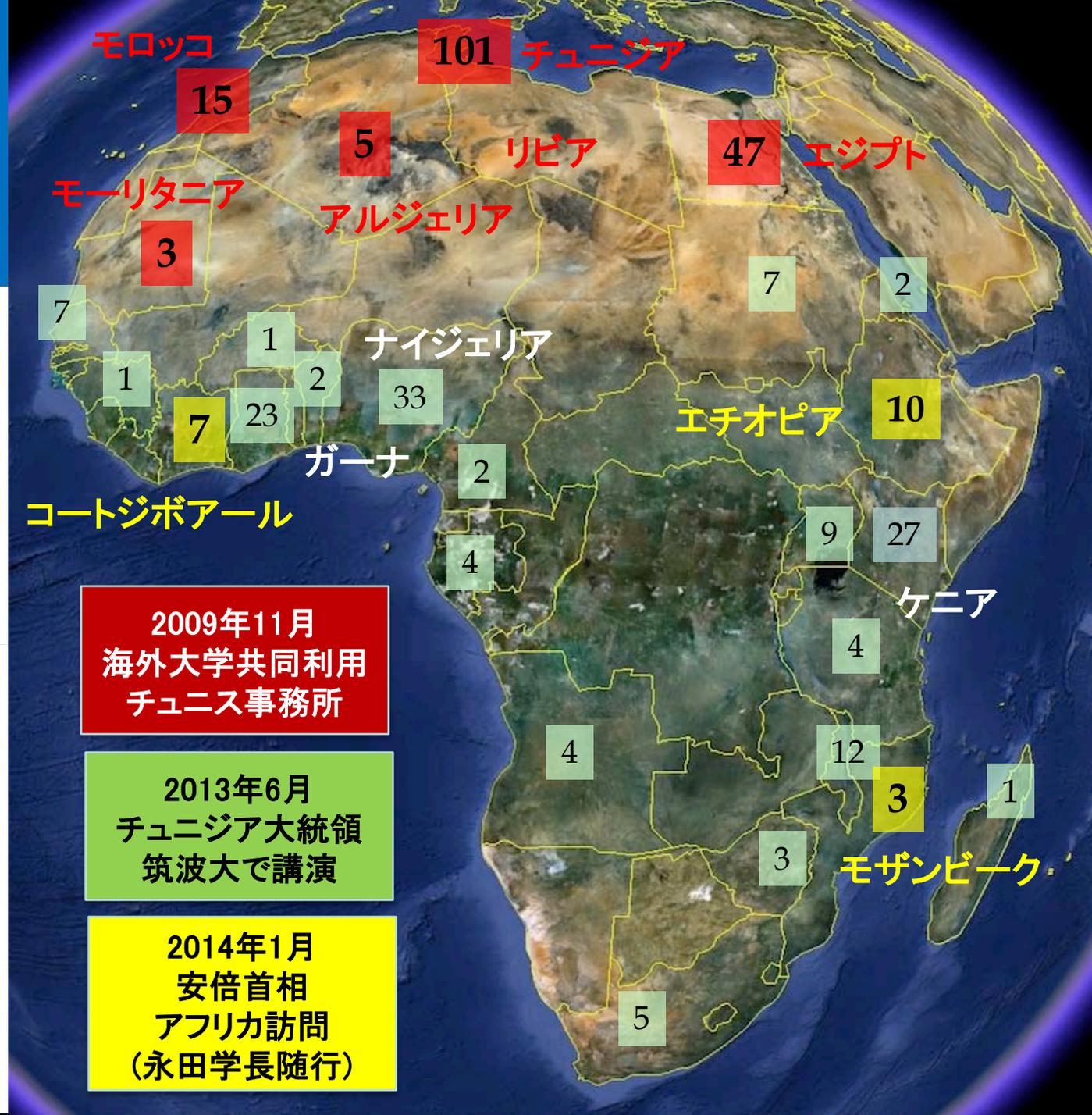
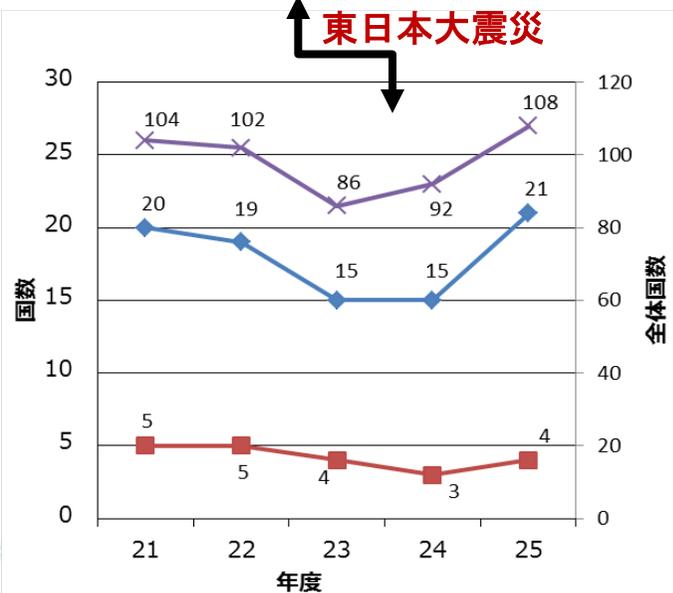
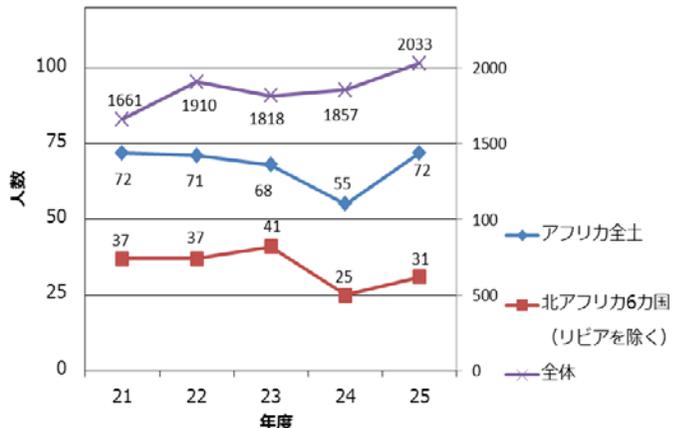
課題: 奨学金の充実

大学独自の危機管理システム

- 大学の支援
- 渡航者の支援



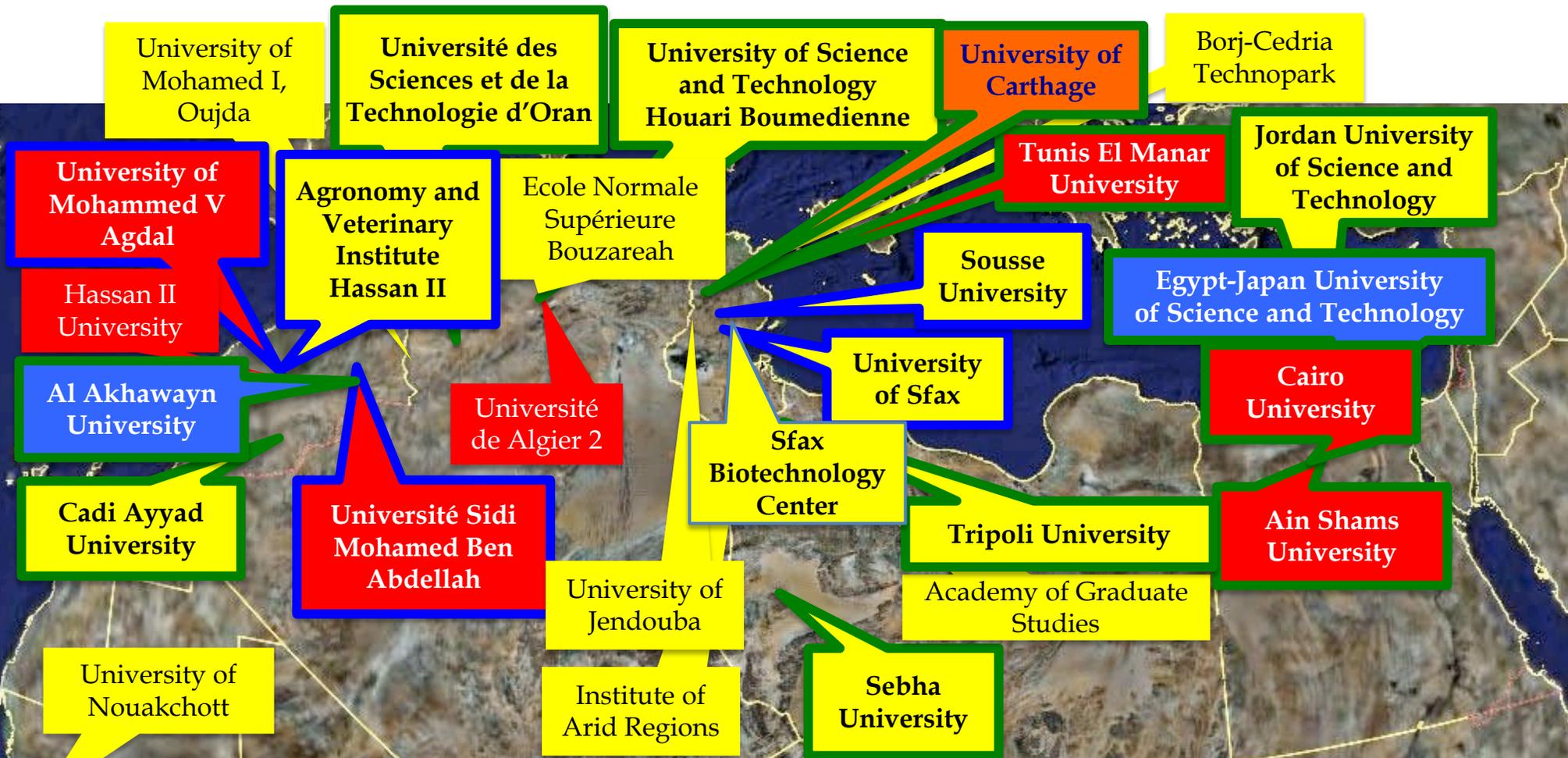
アフリカからの 留学生(留学ビザ) 2009年-2013年



2009年11月
海外大学共同利用
チュニス事務所

2013年6月
チュニジア大統領
筑波大で講演

2014年1月
安倍首相
アフリカ訪問
(永田学長随行)



	Concluded agreement including undergraduate and graduate student exchange.		Offer Japanese language training courses.
	Concluded agreement including graduate student exchange.		All classes and procedures are conducted in English.



4 Dec. 2012: JAAN Preparatory Meeting (Tokyo)



4 Oct. 2012: Visit of African Diplomatic Delegation (Tsukuba)

Ambassadors and representatives of Senegal, Ethiopia, Angola, Nigeria and Rwanda
Discussion of the opportunity of academic cooperation with African countries

4 Dec. 2012: JAAN Preparatory Meeting (Tokyo)

- 1) Expansion of academic network to whole African continent
- 2) Academic cooperation for sustainable development of Africa

30 May 2013: 1st JAAN Working-level Meeting (Yokohama)

- 1) Sharing information of academic activities in Africa of participant universities
- 2) Involvement of more key universities and stakeholders
- 3) Tentative organization of the network

31 May and 1-3 June 2013: Booth exhibition at TICAD V (Yokohama)

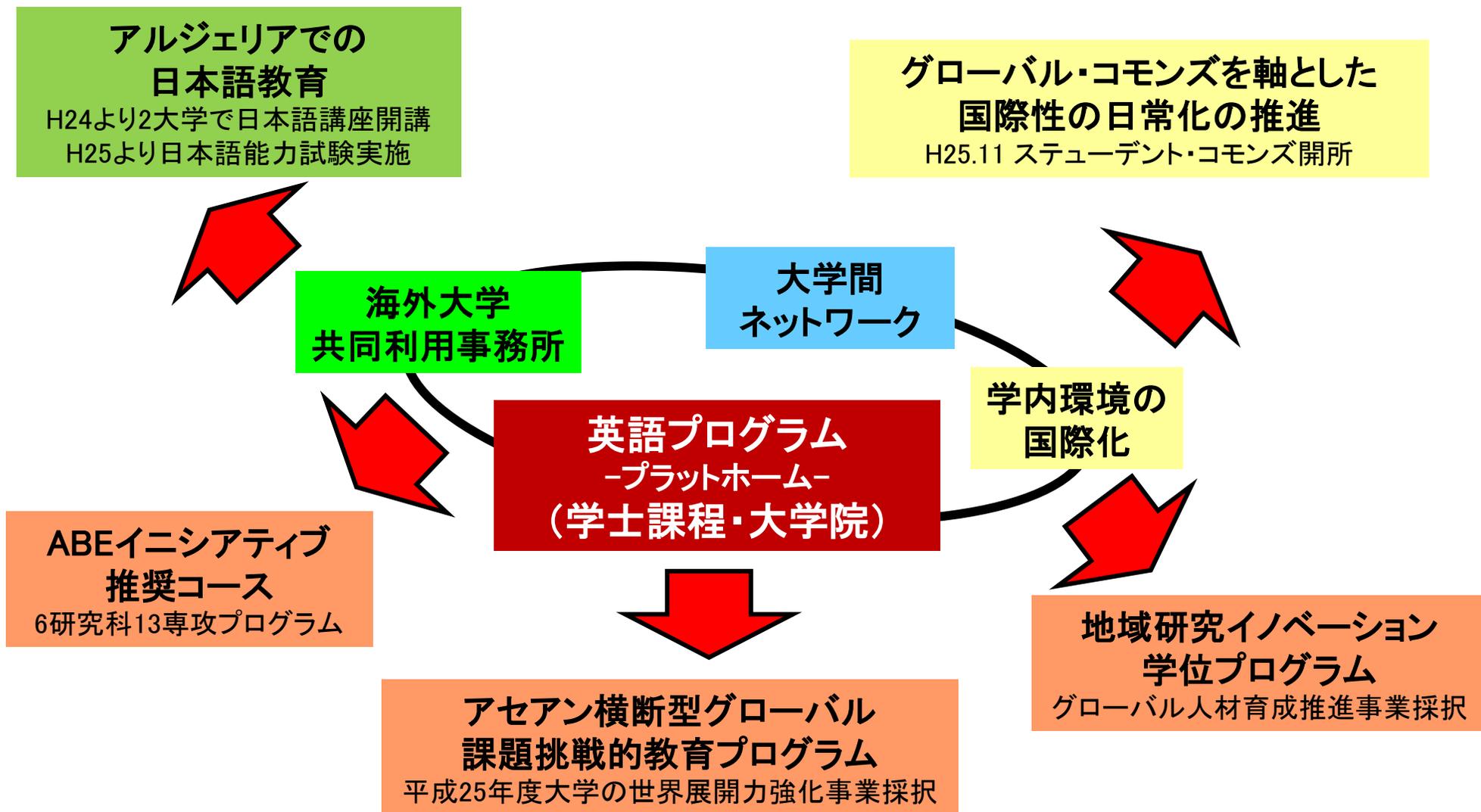
24 January 2014: 2nd JAAN Working-level Meeting (Tokyo)



関係大学・機関: 筑波大学、北海道大学、横浜国立大学、九州大学、長崎大学、国際基督教大学、明治大学(以上、協力校)、群馬大学、千葉大学、東京外国語大学、新潟大学、富山大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、上智大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、琉球大学、京都大学、同志社大学、岐阜大学、神戸情報大学院大学、文部科学省、外務省、経済産業省、日本学生支援機構、科学技術振興機構、国際協力機構、日本国際協力センター、日本学術振興会、アフリカ開発銀行

31 May and 1-3 June 2013: TICAD V (Yokohama)







● 成功する海外オフィス: 人的ネットワークの確立・活用による現地との連携

- ① 当該地域での経験が豊富な駐在コーディネータ及び有識者であるアドバイザー(現地大学学長、産学連携テクノパーク所長経験者)を採用し、現場レベルでの幅広い人的ネットワークを構築出来た。
- ② 留学説明会における会場設備の提供、先方高等教育省との包括協定の締結等、在日大使館を含めた当該国の強力な支援が得られた。
- ③ 北アフリカ諸国駐在の日本大使館と緊密な連携体制を構築できた。
- ④ 有力大学と交流協定を締結し、頻繁に当該大学長との会合の機会をもった。
- ⑤ 日本・北アフリカ学長会議の開催、日本・アフリカ大学連携ネットワーク(JAAN)構想の推進により、日本国内および北アフリカ諸国の大学間ネットワーク形成を進めた。

● 効果的な広報

- ① 日本の大学が国際化に向けて動き出したことの認知度向上から始めなければならなかったため、開催回数を多くする、開催場所を毎回変える、経費をかけない、手作りで行うことを目標に、数多くの日本留学説明会を開催した。
- ② 日常的なニュース、奨学金募集情報等をWebページ(BUTUJ News)およびtwitterで発信した。

● 広報と入試

- ① 留学説明会は話題作り及び認知度の向上、実質的な情報発信はWEBが効果的であるとの認識のもと、グローバル30のWEBの充実化を進め、英語プログラムの紹介、入試情報の提供を行った。
- ② 入試のタイミングでFacebookなどを活用した。

● 海外拠点の課題と展望

- ① 日本留学希望者の飛躍的増加を見ることができたが、国費奨学金等の奨学金の機会がごく少数に限られているため、国費、JASSOの奨学金事業の拡充を働きかけると共に、企業、相手国政府、国際機関との連携による学生の経済的支援の多様な枠組みを開拓・構築する必要がある。
- ② これまで培ってきた日本国内および北アフリカ諸国の大学間ネットワークを活用し、海外拠点、現地リソースの共用を推し進め、「ALL JAPAN」の広域学術交流拠点としての活動を展開する。